

### 3. 意見の内容と市の考え方

番号	8	事業名	佐久市アダプトシステム事業	担当課	公園緑地課	
重点施策の分類	徹底した情報公開による市民参加型市政の実現			予算要求額	当初予算額(案)	意見件数
				604	510	6
事業内容	<p>佐久市が設置又は、管理する道路、公園等の街路樹や植栽帯の管理をする市民や団体等を支援するため、管理に必要な作業用品、燃料代、肥料などを支給し、潤いと安らぎのある公園都市の形成を図ります。</p> <p>当初実施したい地域としては、平成21年度に完成する岩村田地区の原東1号線、野沢地区の跡部白田線と原公園を予定しています。</p> <p>次年度以降は、継続的な費用として、肥料や燃料代を計上して団体等の支援を行なっていきます。</p> <p>なお、今後、この事業を佐久市全域に拡大したいと考えており、賛同いただける市民、団体等を積極的に支援するため、管理等に必要な費用を計上し、継続的な事業としていきます。</p>					
いただいたご意見の要旨				担当課の回答		
<p>(1)市民参加型市政の実現は大歓迎です。ゴミの不法投棄をなくすためにも、良い気運作りになることを期待します。佐久市の環境保全のためにも市民参加型の市政に賛同いたします。</p> <p>(2)この事業を大いにアピールして行政に頼らず、一市民として住みよい街づくりに参加することの大切さを、この事業を通し、佐久市市民活動サポートセンター事業への啓蒙活動事業とすることに期待します。</p> <p>(3)「新しい公」に属する分野です。広報公聴、公園緑地の両課が、当初からリンクして取り組むことを要請します。</p> <p>(4)公共物里親制度の設置は、新しい公として市民が連携を深める第一歩として適切。市民が自主的に行うのが適切と考えたとサポートセンターの活動範囲として設置され、市政参加意識向上のきっかけとし、市民・民間主体の運営にすべき。</p> <p>(5)そもそも アダプトシステムって何ですか。 最近の行政の事業名、横文字多くありませんか。 国県も同様で、タイトルを聞いても何をやろうとしているのかわかりません。</p> <p>(6)なぜカタカナを使うのでしょうか。内容には賛成します。</p>				<p>(1)～(4)ご意見ありがとうございます。関係各課と連携をとりながら取り組んでまいります。</p> <p>(5)(6)アダプトシステムのアダプトとは、「養子縁組をする」という意味です。住民の方々が道路や公園などの公共スペースを、養子のように愛情をもって面倒をみる(清掃・美化)ことから命名されました。1985年、アメリカでハイウェイのボランティア清掃活動として始まりました。 長野県では平成15年度からアダプトシステムの名称で事業が始まっておりますことから、佐久市でも同様の名称を使用しております。</p>		